

【榎本館長からのメッセージ】

心配されていた前庭の「ジャカラダ」も無事、沢山の花を付け一安心。と、安堵も束の間、梅雨入りと荒天。今度は、あっという間に散ってしまうのではないかとドキドキ！ハラハラ！

また、以前より国内上陸が懸念され、細心の注意を払い海外からの侵入を防いでいた危険外来生物の「ヒアリ」が、国内に持ち込まれ大量に発見されました。いずれも、植物館や公園を管理する我々には頭の痛い問題です。心配事ばかりではありません。夢熱の7月と言えば、スクール体験&夜間開館！！今年は、7月22日より毎週末、8月いっぱいまで行われます。

特に7月は3日間しかない夜間開館。落語あり、ガイドあり、ナイトバーあり、ライトアップありと、盛りだくさん。また、昼間の暑さが苦手の方はこの機会に夜の植物館で植物の吐息を感じてはいかがでしょうか。お待ちしております。 館長



季節イベントの紹介 (イベント・展示担当：関)

もうすぐ夏休みの7月。前半の企画展は「夢の島 ALOHA フェスタ」。青い空と海、真っ赤なハイビスカス、大自然の宝庫ハワイを特集いたします。植物から見た、ハワイの魅力を存分にご紹介いたします。後半は「食虫植物と熱帯のいきものたち展」を開催します。夏休みの植物館は自由研究の素材がいっぱい。熱帯の珍しい生きものを観察してみませんか？

また、人気の夜間開館も7月は22日、28日29日に開催。20時半まで開館しています。

- 【7月のイベント】 企画展「夢の島 ALOHA フェスタ」(6/27~7/17)
- 企画展関連イベント 「アレンジメント教室」(7/2) 「ハイビスカスミニ鉢プレゼント」(7/17)
- 企画展「食虫植物と熱帯の生きものたち展」(7/19~8/27)
- 企画展関連イベント 「身近な植物のすご技」(7/22) 「食虫植物の補虫実験」(7/29)
- 「食虫植物の栽培相談会&即売会」(7/29)

- 《季節イベント》「ウィークエンドコンサート」(7/1・15) 「ハーブの学校」(7/2) 「森の学校」(7/8) 「雲の立体模型」(7/16)
- 「夢熱落語会」(7/29) 「染物教室」(7/30) 「夜間開館 2017」(7/22、28、29) 「熱帯スクール体験」(7/22~の土日)

★詳しくはイベントチラシまたは夢の島熱帯植物館にお問い合わせください。

館内で見られる植物の紹介 (植物館植栽担当：横平)

大温室では、現在小笠原諸島の固有種を31種展示しています。中にはオガサワラグワやシマギョクシンカなど絶滅の危機に瀕している絶滅危惧種があります。さらに植物館では、大温室には展示せず、別の栽培温室で保有している希少種や絶滅危惧種などの貴重な植物も栽培しています。

そのうちの一つ、小笠原固有種で絶滅危惧種の「オオハマギキョウ」が開花を迎えましたので、イベントホールに展示し紹介しています。

オオハマギキョウは、一生に一度しか花をつけません。葉をたくさんつけることから、「千枚葉」とも言われています。諸条件によりますが、発芽してから4~6年で頭頂部に総状花序を出します。淡緑から白色の花をたくさんつけ、その後種を数万粒も作ってまき散らし、ついにはその株は枯れてしまいます。

長年にわたり生長しながら栄養分を蓄えて、花をつけ結実するために一気にそれを使い、枯死してしまう植物を「一回結実性植物」と呼んでいます。こうした一生に一度しか花を咲かせない植物は、他にも「センチュリー・プラント」と呼ばれるアオノリュウゼツラン、サゴヤシやタケなどがあります。

以前は小笠原諸島のあちこちの島にあったようですが、人間が持ち込んで野生化したヤギの食害にあい、株数が減ってしまったようです。



▲ オオハマギキョウ (キキョウ科)



全体 ▶

今月の花と実



▲ インドハマユウ



▲ 地湧金蓮



▲ カンガルーポー

♪ この時期の人気者 ♪

この時期、屋外も見所いっぱいです。芝生庭では、タコさんウイナーのようなザクロの落花が足元に転がっています。池の蓮の花はキリッと荘厳な雰囲気を出しています。二階のオーストラリア庭園では、今にも飛び跳ねそうなカンガルーの足に似た植物がお出迎え中♪

【ザンバズ券】団体不可
コーヒ・紅茶
一杯無料
7/1~7/31